

手術室内における麻酔用筋弛緩剤の紛失について

2015年3月20日

公益財団法人 健和会

健和会大手町病院

院長 西中徳治

2015年3月18日（水）手術室内において、当日手術終了時（19：30頃）に鍵付保冷庫に定数配置（15本）している麻酔用筋弛緩剤（商品名エスラックス静注 50 mg/5.0ml）の残数量を担当看護師が確認したところ、1本不足していることが判明しました。

直ちに誤廃棄の可能性を疑い、廃棄物回収を停止・手術室内の調査を行いましたが発見できず、翌3月19日（木）にかけて当該薬剤の使用数・未使用数の再確認及び手術記録との照合、薬剤の払い出し、未使用返却書類の突合、麻酔医・看護師からの聴取、廃棄物・洗濯物、手術室内・ロッカー等の再調査を行いました。現在まで発見に至っておりません。

当院としては、誤って廃棄した可能性が高いと考えておりますが、当該薬剤が毒薬であり、誤廃棄以外の可能性も否定できないため、2015年3月20日（金）に北九州市保健所及び小倉北警察署に届出をし、立ち入り調査を受けました。

今回の事案は毒薬の紛失という重大な事態であるということから、関係機関の指導の下、引き続き原因究明に努めるとともに、病院管理会において直ちに危険薬剤の取り扱い手順の見直しについて検討し、今後の再発防止に向けた対策を講じることとしました。

地域の皆様、関係機関に多大なご心配をおかけし誠に申し訳ございません。